

予算決算委員会（予算審査）

予算審査 総務部



◆令和6年度弥富市一般会
計予算
「繰入金について」

問 今後5年間の投資的経
費の主な事業別の見込み額
は。

答 公共施設の長寿命化
や予防保全の事業に約
47億7600万円、農地
保全の県営事業に約7億
円、弥富駅自由通路整備
事業に約38億4100万
円、市道鎌倉線の整備に約
3億5500万円、その他
経常的に行うべき工事に
約29億2900万円を見込
んでいる。

問 当初予算における財
政調整基金の繰入金が約
2億1千万円増加している
理由は。

答 一般財源で賄われる人
件費、扶助費及び物価高騰
により上昇した物件費が大
きく増加したため。

「歳出目的別について」

問 防災に関する費用は増
えているか。

答 消防費全体では海部南
部消防組合負担金で、約
7100万円の増額。

問 災害対策費は前ヶ平地区の
避難路整備工事が完了し約
1千万円減額など。

問 能登半島支援に行った
職員のヒアリング結果を予
算に反映させたか。

答 反映していない。
6月に予定の「羅災証明
実務・住宅被害認定訓練」
に活かす。

「歳出節別明細書について」

問 需用費と工事請負費は
人件費やエネルギー・物価
上昇分を見込んだ予算編成
か。

答 上昇分を加味した予算
編成。
「ふるさとやとみ応援寄附
金について」

問 寄付金を増やすような
取り組みは。

答 全国的な取り組みを注
視しながら効果的な取り組
みを模索していく。

「地方創生推進事業支援業
務委託料について」

問 「やとみっけベース」
の周知方法は。

答 広報誌や市ホームページ、
SNS等を中心に広く
発信していく。



「災害対策事務事業につい
て」

問 食料の備蓄はどれくら
いされているか。

答 人口数や市民以外の帰
宅困難者等も考慮し、1日
1食で5万6千食を備蓄。

問 市内オストメイトの
人数は。



▲オストメイト専用

※オストメイト
人工肛門・人工膀胱を
装着している人

「固定資産税について」

問 固定資産税の家屋部分
償却資産部分が増額である
が積算根拠は。

答 令和5年度、一部大規
模家屋が積算見込みを大き
く上回った。償却資産の積
算も当初の見込みを大きく
上回る申告があり影響を受
けた。これに加え一部大規
模物流施設の償却資産の増
加を見込んでいる。

◆令和6年度弥富市一般会
計予算

「農業振興事業について」

問 共同防除事業費補助金
431万円で、効果的な対
策ができるか。

答 カメムシ等の害虫によ
る被害に対し経費の一部を
支援しており、予算を拡充
した。

「飲食店等創業支援事業補
助金について」

問 補助金が50万円である
が、補助金を店舗と移動販
売に区分して支給する必要
があるのでは。

答 創業経費200万円以
上を支出した事業者に1件
あたり50万円を支援するも
ので、区分は行わない。
問 商工会に加入しないと
補助金は支給されないのか。
答 支援には商工会加入が
条件。
問 継続的に事業を行うの
か。
答 継続する予定。

「橋梁工事請負費について」

問 令和6年度は「弥富市
橋梁長寿命化修繕計画」全
体の何%が完了するのか。

答 点検及び修繕の結果に
より数値が変動する。策
定時点の計画分としては
令和6年度の修繕工事で
100%完了。

「空家対策事業について」

問 市内全域の空家件数を
どのように把握するのか。

答 住宅地図を作成する企
業が収集している現地調査
情報等を活用し、把握する。
問 調査結果を自治会等か
ら求められた際に開示する
のか。
答 開示することは考えて
いない。
問 過去に空家調査はいつ
行ったか。
答 平成28年度、令和2年
度に実施した。

